

のぞみ通信



生協のぞみ訪問看護ステーション発17.11.28 (火) No26

こんにちは 生協のぞみ訪問看護ステーションです

介護保険制度を良くする署名の取り組み

11月には、利用者やご家族に署名のお願いをいたしました
主な項目は以下の通りです

- 1、生活援助を始めとする介護サービスの削減をしないこと
- 2、利用者負担の引き上げの実施しないこと
- 3、特養ホームなどの整備を急ぐこと
- 4、介護報酬を大幅に引き上げること
- 5、介護従事者の処遇改善
- 6、政府の責任で必要な財源を確保し、社会保障費の削減を中止すること

寄せられた声

新聞記事を読んで情勢は分かっています。今のサービスが使えなくなるのは困ります。(要介護4)

大変なことになるみたいですね。テレビで見えています。みなさん、署名集めまでされて大変ですね。でも、自分の声をどう届けたらよいかと思っていたので協力します

夫婦とも要支援なので、馴染みのヘルパーさんに来てもらえなくなるのではと心配です。事業所もつぶれたところもあつたりしますし…

デイサービスに行けなくなるのは困ります。従業員の方も給与に影響したり働く場所が無くなったりしないかと心配しています。負担割合も高くなるのでは…と心配の種がつきません。

編集後記

「年寄りが増えてごめんなさいね」 「年寄りが長生きす-だけんね…」

最近、こんな声をしばしば聞きます
太平洋戦争の戦禍をくぐりぬけ、戦後の復興を支え、そして今…
2000年に介護保険制度を創るとき、「介護の社会化」をめざして、「走りながら考える」と介護現場の職員は、夜遅くまで準備をし、運用をしてきました。
あれから17年 このような声を聞くためだったのだろうか……
来春の介護報酬改定が、これらの現場の声を少しでも叶える方向に動くことを願っています